



R&D Center (North America) のご紹介

八太 秀周 *

Introduction of R&D Center (North America)

Hidenori Hatta *

1. はじめに

R&D Center (North America) は、UACJとして初の海外研究開発拠点として、米国シカゴにあるUACJ North America, Inc. (UNA) 内に2018年4月に設置され、2年余りが経ちました。ここではその概略を紹介致します。

Chicagoを拠点としてFig. 1およびFig. 2に示す環境のもと、北米における自動車向けアルミニウム構造材や加工部品をはじめ、IT製品や缶材向けアルミニウム材料、自動車及び空調向けの熱交換器用材料等の分野を中心に広く担当しています。北米の各製造拠点と連携しつつR&D Center (North America) から技術展開、さらには日本のR&Dとも密に連携を図り、製品開発や生産技術開発を推進しています。

2. 自動車分野

自動車分野では、地球環境保護の観点から、北米でも電動車の開発が急速に進んでいます。北米大手のデトロイト3はもちろん新興の電動車メーカーも急速な立ち上がりを見せ、まさに大きく変化しようとしています。その中で、電動車にはその航続距離向上のため軽量化や熱伝達の良い素材としてアルミニウム素材のニーズが従来以上に高まっています。北米でのこの大きなニーズに対応すべく、各拠点およびR&Dでの開発を推進すると共に、さらにはFig. 3に示すような北米グループ各社が参加して全体会議も実施し、UACJグループとして連携を強固にし新しい部品開発を進めています。



Fig. 1 Building where UNA is located.



Fig. 2 R&D Center (North America) in Chicago.

* R&D Center (North America), UACJ North America, Inc., Dr. Eng.



Fig. 3 Meeting on automobile parts at UNA.

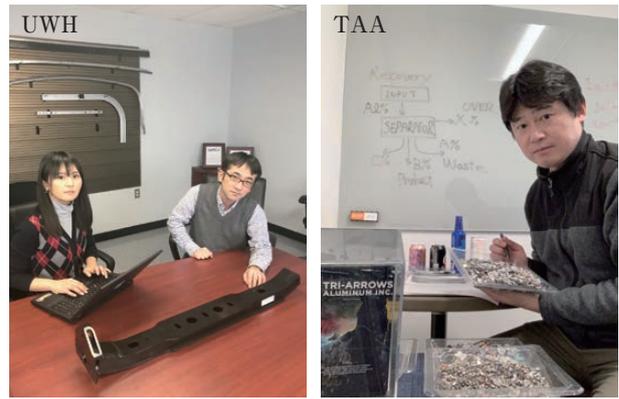


Fig. 4 R&D researchers in UWH and TAA.

3. 北米製造拠点との連携

アルミニウムの押出素材から自動車加工部品まで一貫で製造できる拠点として、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc. (UWH) の本社機能を有する 6th Street Plant がミシガン州にあります。Fig. 4 に示すように R&D Center (North America) の研究者もその工場に駐在し、生産ラインを何度も確認し現地のアメリカ人技術者と毎日議論を繰り返しながら、新規製品の開発・実用化を進めています。

飲料缶材向け材料に関しては、世界最大級のアルミ缶材生産拠点であるローガン工場への製造委託販売会社である Tri-Arrows Aluminum (TAA) へ技術者を派遣しオペレーションチームの一員として業務に従事しています。ここではローガン工場の強みであるアルミ屑からの溶解・ casting・圧延一貫工程における高い生産性、コスト競争力をさらに向上させていくための施策・課題に取り組んでいます。

その他の UACJ グループの北米製造拠点についても、開発や分析評価に協力できる体制をとっております。

4. IT 製品向けおよび熱交換器向け材料

IT 製品や熱交換器材料の開発では北米のお客様と密な議論を行うことでお客様のニーズを的確に汲み取り、日本国内外の製造拠点及び R&D へ展開し、新規製品開発へ繋げています。このような分野でも議論や情報伝達のみでなく、Fig. 5 のように製品の現物確認等もしっかり行い、研究者として当社製品を深く理解し新規製品の実用化や品質改善を推進しています。



Fig. 5 Microscopic observation of the product.

5. 終わりに

自動車、IT 製品、熱交、缶用の各分野とも急速な環境変化のもと、新規技術開発が強く要求されております。R&D Center (North America) では、北米でのお客様のニーズを正確に把握し、事業の発展に貢献できるよう新製品と新技術の開発を進めています。



八太 秀周 (Hidenori Hatta)
R&D Center (North America),
UACJ North America, Inc., 博士 (工学)